



2026年7月16日

守口市立八雲東小学校

校長 石本 裕樹

●6年生『プールでの着衣泳』

7月15日(水)、6年生が、水難事故から命を守るための『着衣泳』を行いました。服を着たまま水に入ると、体が思うように動かず、衣服が水を含んで重くなることを、子どもたちは実際に体験しました。

また、無理に泳ごうとするのではなく、「浮いて助けを待つ」ことの大切さを学び、ペットボトルなど身近な物を使って浮く方法にも挑戦しました。もうすぐ始まる夏休み。楽しい思い出をたくさんつくとともに、万が一の場面では、この学びが子どもたちの命を守る力につながることを願っています。



●教職員研修『不審者対応訓練』

7月16日(木)、守口警察署のご協力のもと、教職員を対象とした不審者対応防犯訓練を実施しました。校内に不審者が侵入したという想定で、子どもたちの安全確保や教職員同士の連携、初期対応の動きなどについて、専門的な助言をいただきながら実践的に学びました。

このような訓練で身に付けた力を実際に使う日が来ないことが何よりの願いです。しかし、万が一の事態が起こったときには、「訓練を重ねていて本当によかった」と言えるよう、これからも子どもたちの命と安全を守るため、日々の備えを大切にしていきたいと思います。



●いよいよ明日は『1学期の終業式』

保護者、そして地域の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、一学期を無事に終えることができます。心より感謝申し上げます。

